

平成24年度 和歌山県文化賞

辻 しょう じ 辻 省 次

住 所：東京都文京区

出 身 地：和歌山県東牟婁郡古座川町

生 年：昭和26年

◎業績及び経歴

昭和26年那智勝浦町に生まれ、古座川町で育つ。東京大学医学部医学科を卒業後、自治医科大学神経内科助手、アメリカ国立衛生研究所客員研究員、新潟大学医学部附属病院神経内科助手を経て、平成3年に同大学脳研究所神経内科教授となる。

氏は、早くから、神経難病の病因の解明、治療法の研究に取り組み、これまでに発表した論文の総被引用回数は、13,000回を超え、世界のこの分野の研究に大きな影響を与えてきている。

平成13年に新潟大学脳研究所所長、平成14年に東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻・神経内科教授となり、平成15年には、21世紀COEプログラム「脳神経学の融合的研究拠点」が採択され、リーダーを務めた。さらに、平成22年度から文部科学省新学術領域研究「パーソナルゲノム情報に基づく脳疾患メカニズムの解明」の代表を務め、平成23年からは東京大学医学部附属病院ゲノム医学センター長として活躍している。

氏は、次世代シーケンサーを駆使した大規模ゲノム解析により、数多くの遺伝性神経疾患の病因遺伝子を発見し、その分子病態機序を明らかにし、治療法開発の道をひらいてきている。さらに、最近では、ゲノム解析に基づいて頻度の高い弧発性神経疾患の病因解明研究に取り組んでおり、新しい治療法開発への道をひらくなど、神経疾患の克服を目指して、臨床神経学、分子遺伝学、脳科学の分野を統合した疾患研究の推進に先駆的な貢献をしてきた。氏の研究結果は、神経内科学はもちろん、脳神経科学やゲノム医科学を含む広い医

学分野において高く評価されており、当該分野のリーダーとしてこれまでに尽くした業績は計り知れない。

■現在

東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻臨床神経精神医学講座神経内科学教授
東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻長
東京大学医学部附属病院ゲノム医学センター長

■主な表彰歴

平成8年 第49回新潟日報文化賞
平成9年 第11回塚原伸晃記念賞
第30回日本人類遺伝学会賞
平成14年 第39回ベルツ賞(佳作賞)
平成22年 日本医師会医学賞
平成23年 紫綬褒章